

社会保障常任委員会における重点課題（課題、方針等）

令和 6 年 4 月 19 日
福 島 県

（現状・課題）

- 2040 年頃に高齢者人口がピークを迎えると見込まれる一方、急速に少子化が進展し、2025 年以降、生産年齢人口は更に減少が加速するなど、本格的な「少子高齢化・人口減少時代」を迎えようとしている。
- 社会保障制度の持続性そのものが課題となる中、質の高い医療・介護を効率的・効果的に提供できる体制の構築に向け、着実に取組を進めていく必要がある。
- 健康寿命の延伸は、高齢者の社会参加や生きがいにつながるばかりでなく、医療費・介護給付費の削減にもつながることから、健康増進対策や生活習慣病予防対策も今後一層重要となる。

（今後の方針）

2040 年を見据えた持続可能な医療・介護提供体制の構築に向け、以下の項目について提言。

1 医療提供体制の構築

- ・地域医療構想の実現
- ・かかりつけ医、かかりつけ薬剤師の機能の確保
- ・在宅医療の推進
- ・オンライン診療の活用
- ・医療DXの推進
- ・医療人材の確保
- ・感染症危機等の事態に向けた対策

2 介護サービス提供体制の確保

- ・介護人材の確保、介護の生産性・質の向上

3 健康づくりの推進

- ・健康長寿社会の実現
- ・生活習慣病予防対策の推進
- ・地域包括ケアシステムの深化

4 医療・介護保険制度の安定的運営